



2026 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 F U J I ジャパン
代 表 者 名 代表取締役 佐々木 忠幸
コード番号 1 4 4 9 札 証
問 合 せ 先 取締役管理部部長 山内 将之
電 話 番 号 0 1 1 - 2 0 9 - 2 0 0 5

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 12 日に公表しました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたことをお知らせいたします。

業績予想との差異及び修正について

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想数値と実績値との差異（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	607	32	32	20	9.76
実績（B）	442	△24	△25	△25	△12.09
増減額（B－A）	△164	△57	△57	△46	
増減率（％）	△27.0	-	-	-	
（参考）前期第 2 四半期実績 （2025 年 12 月期第 2 四半期）	565	△8	△10	148	69.52

（差異の理由）

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）業績予想は、当社では、北海道・東北・関東エリアにおいて、新規顧客獲得のため自社生産製品の販売強化、法人顧客に対して材料販売及び工事受注増加のためのアプローチ強化に努めてまいりました。

しかし、物価高騰による消費者マインドの低下や政策金利上昇の影響は大変大きく、受注件数が大幅に減少することとなり、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益のいずれも予想を下回る結果となりました。

なお、近時の中東情勢が金融・為替市場やわが国の経済・物価に影響を及ぼすなど、今後の経済環境変化が当社に与える影響が不透明であることから、2026 年 12 月期通期業績予想は据え置くことといたしました。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上